

# Weekly Report

2022～2023 年度



令和5年2月14日(火)

## 第2093回例会

- ◆ 会長／嶋 元
- ◆ 幹事／菊池 慶高
- ◆ 会報／青柳 和洋



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブの例会は、いつも「笑顔」が溢れる。それは、この地域を愛する者たちが、互いに支え合い、共に成長していく姿が、花の如く美しく咲き誇る。例会は、ただの集まりではなく、心を通じ合い、絆を深める大切な時間。これからも、笑顔と情熱をこめて、例会を盛り上げていきたい。令和5年2月14日 嶋元

- 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
- 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

- 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

### 第2093回例会記録 令和5年2月14日(火) 26/47回

<点鐘> 嶋会長

<ソング> それでこそロータリー

<お客様>  
川崎市麻生区長、川崎百合丘RC 名誉会員  
三瓶清美様

<会長報告> 嶋会長

- クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)開催の案内  
3/17(金) PETS 10:00～17:00  
懇親会17:00～18:00  
メモワールプラザソシア21  
親松会長エレクトに依頼しました。
- 2023-24年度地区研修・協議会の案内(動画配信・冊子配布にて実施)  
配信期間:4/10～6/30  
視聴義務者:下記すべて次年度
  - ①会長部門
  - ②幹事部門
  - ③クラブ管理運営部門(研修委員長・会員増強・公共イメージ向上)
  - ④奉仕活動部門(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)
  - ⑤危機管理部門
  - ⑥ロータリー財団部門
  - ⑦米山記念奨学部門

⑧新会員(1年未満の新会員及び3年未満地区研修・協議会経験者)

3. 第34回関東ブロック研修会の案内(ローターアクト)  
4/29(土.祝) 13:00～18:00

30(日) 10:00～16:00

開催方法:ハイブリッド形式 ウィリング横浜・Zoom

4. 第21回ロータリー全国囲碁大会の案内  
5/20(土) 10:00～ 東京・市ヶ谷の日本棋院本院  
1F対局室

<幹事報告> 菊池幹事

\* 第5回会長・幹事会開催の案内

3/8(水) 18:00～ ホテルKSP

\* 当クラブ例会

2/21(火) 通常例会 会員卓話

2/28(火) 通常例会 会員卓話

3/7(火) 招聘卓話 麻生警察署長

3/14(火) 招聘卓話

\* 近隣クラブ例会変更

川崎鷺沼RC

<ニコニコ委員会> 鈴木孝英委員

嶋会長→「麻生区長三瓶様ようこそ。本日の卓話よろしくお願ひします」。菊池幹事→「麻生区長お忙しい中、お越し頂きありがとうございます。本日の卓話宜しくお願ひ致します」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、

第2095回	2月28日	通常例会
第2096回	3月7日	通常例会
第2097回	3月14日	通常例会

青柳会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、伊藤会員、鴨志田会員、小島会員、近藤会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、大野会員、大矢会員、親松会員、江田会員、左藤会員、関田会員、白井会員、鈴木岳人会員、渡邊会員、山口会員、山木会員、結城会員、鈴木孝英会員。

<出席委員会> 左藤委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第2093回	45	35	10		77.78%
第2092回	45	29	16	3	71.11%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	31,000円	691件	747,358円
財団	0件	0円	12件	255,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	139,000円
米山	1件	10,000円	18件	260,000円

<米山奨学委員会> 鈴木岳人委員長

福家会員→「2月11日で85歳になりました。あと4年健康に過ごしたいと願っております」。

本日のプログラム

<招聘卓話>

川崎市麻生区長、川崎百合丘RC 名誉会員

三瓶清美様

本日は麻生区の人口から見る現状をお話したいと思います。

—以下スライドを見ながらお話しを聞きました—

麻生区は昭和57年から40年後の令和4年まで人口と世帯の推計で見ると緩やかではありますが右肩上がりに人口が増えています。7つの区別の人口推移では麻生区が一番少ない人口からスタートし現在は幸区を上回る人口です。面積で比較すると一番広い区は川崎区で麻生区は2番目に広いです。人口が最も近い幸区は7つの区の中で最も面積が小さく麻生区の半分ほどです。麻生区は昭和57年から現在まで倍近く人数が増えています。伸び率も7区の中でトップです。国勢調査の5年ごとの数字で見ると平成22年に増加数が10.99%となりましたが、それ以降は伸びてはいますが鈍化しています。次に人口動態から見てみたいと思います。人口動態には自然動態と社会動態があり、自然動態は亡くなる方と生ま

れる方の集計、社会動態は引っ越してきた方と麻生区外へ出て行った方の集計です。令和元年以降生まれてくる赤ちゃんより亡くなる方の数字の方が多くなっています。社会動態では引っ越してこられた方の方が多くトータルで考えると人口は増えております。人口に合わせた政策を出さなければいけないということで毎月の人口については区役所でも非常に注目しています。年代別で比較した図を見て頂くと、まず麻生区は女性が多いです。10代までは男性が多いのですが、20代以降は全ての代で女性が多く80代以降は特に女性が多いです。麻生区は高齢者施設が多いのも一つの要因ではないかと思っています。国でも人口の調査をしています。今年の出生数が初めて80万人を下回り予想より8年早く少子化が進んでいます。麻生区の人口動態についてもしっかり見ていく必要がありますし、人口に合わせた取り組みが必要だと考えています。少子化が進む現在いかに麻生区に引っ越してきてもらう方の人数を増やすかが大切になっており、そのための街づくりについても検討していきたいと思っております。

<点鐘>

嶋会長

